

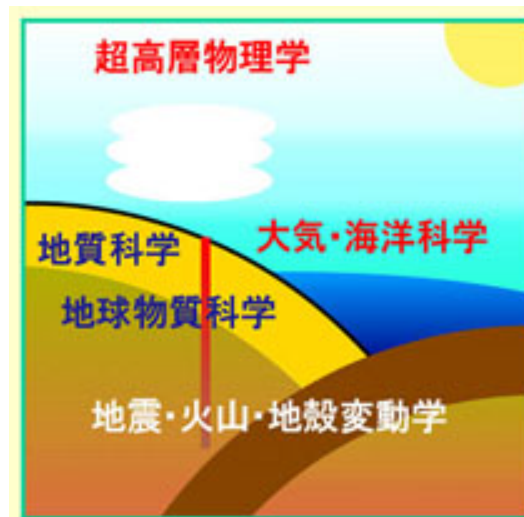
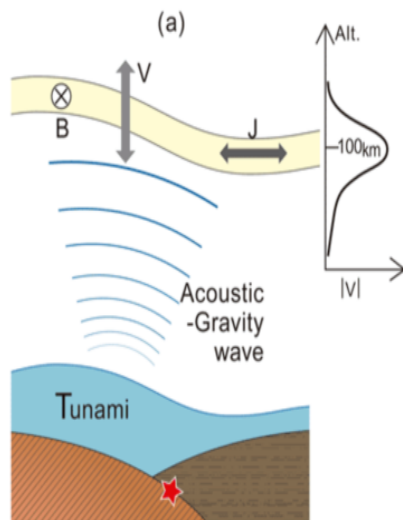
メタ情報データベースの必要性

家森俊彦

*京都大学大学院理学研究科

内容:

1. 地球科学メタ情報の意義
2. メタ情報データベースの必要性



地球惑星科学メタ情報データベース構築の意義

メタ情報： データについての説明・索引

有用性： データの使用に必要な情報を与える

コンパクトで全体を俯瞰可能

異分野への取りかかり

必要性： 地球科学の学際化・分野横断研究の必要

データベースとしては、ほとんど未整備・未公開

発展性： より広範囲をカバーするVOの実現

データセンター間の協力態勢の強化

地球惑星科学全体をカバーするデータシステム形成の可能性

A: 分野毎・機関毎のデータベースあるいは仮想観測所群

→ 相互にメタ情報を交換

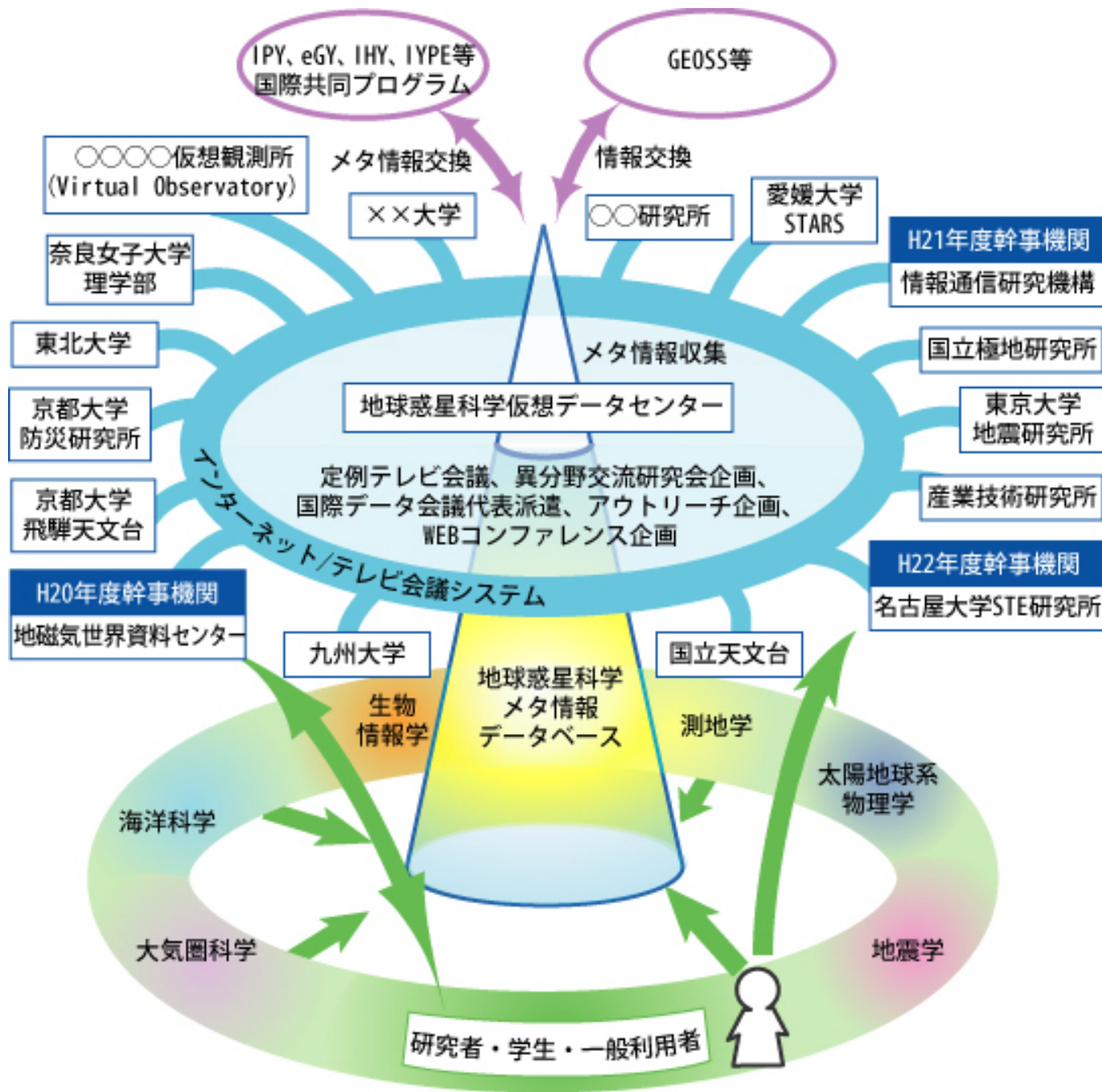
(国際的にはこちらの方向?)

B: 分野毎にメタ情報を収集

→ 広範囲をカバーするメタ情報データベース

← 各分野仮想観測所群から利用

(国内なら実現可能性大?)



客観情勢：

- ・ 地球科学の学際化 - 分野横断の必要性
- ・ 国際的動向 (VO, I*Y, metadata standard, etc.)
- ・ 日本地球惑星科学連合の設立
- ・ 技術の進展

➔ 実現に向け行動の好機到来？